



日本学術会議 学術フォーラム  
「危機の時代におけるアカデミーと未来」

# 日本学術会議の社会的緊急課題に 対する役割

## COVID-19への対応

2021年2月27日

日本学術会議第二部部長武田洋幸

# 社会的緊急課題：アカデミーができることは何か

学術の立場から、社会や国等に向けて速やかに見解や提言等を出

2011年3月11日 東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故

No	決定年月日	区分	名称	表出の主体	分類	備考
1	2011/3/18	幹事会声明	<a href="#">日本学術会議幹事会声明「東北・関東大震災とその後の原子力発電所事故について」</a>		1.総合	
2	2011/3/25	提言	<a href="#">東日本大震災に対応する第一次緊急提言</a>	東日本大震災対策委員会	1.総合	
3	2011/4/4	提言	<a href="#">東日本大震災に対応する第二次緊急提言「福島第一原子力発電所事故後の放射線量調査の必要性について」</a>	東日本大震災対策委員会	5.放射能	
4	2011/4/5	提言	<a href="#">東日本大震災に対応する第三次緊急提言「東日本大震災被災者救援・被災地域復興のために」</a>	東日本大震災対策委員会	3.被災者支援	
5	2011/4/5	提言	<a href="#">東日本大震災に対応する第四次緊急提言「震災廃棄物対策と環境影響防止に関する緊急提言」</a>	東日本大震災対策委員会	5.放射能	
6	2011/4/13	提言	<a href="#">東日本大震災に対応する第五次緊急提言「福島第一原子力発電所事故対策等へのロボット技術の活用について」</a>	東日本大震災対策委員会	5.放射能	
7	2011/4/15	提言	<a href="#">東日本大震災に対応する第六次緊急提言「救済・支援・復興に男女共同参画の視点を」</a>	東日本大震災対策委員会	3.被災者支援	
8	2011/6/8	提言	<a href="#">東日本大震災被災地域の復興に向けて-復興の目標と7つの原則-</a>	東日本大震災対策委員会・被災地域の復興グラウンド・デザイン分科会	1.総合	
9	2011/6/17	会長談話	<a href="#">日本学術会議会長談話「放射線防護の対策を正しく理解するために」</a>		5.放射能	

3月18日 幹事会声明

3月23日 大震災対策委員会を設置

3月25日-8月3日まで 第一次-第七次緊急提言

放射線影響、復興支援、エネルギー政策など

2014年9月30日まで52の意思表出（科学的助言）  
（会長談話、幹事会声明、提言、報告）

2011年5月2日 海外アカデミーへの発信

2020年7月7日 報告「東京電力福島第一原子力発電所事故による環境汚染の調査研究の進展と課題」

# 社会的緊急課題：アカデミーができることは何か

COVID-19（新型コロナウイルス感染症）：  
経緯と現状

2019年 12月1日-2020年1月2日 感染者41名@武漢  
2020年 1月11日 ゲノムデータ公表（上海の解析チーム）  
1月30日 WHO パンデミック宣言

日本：1月初旬から中旬 武漢由来のクラスター、  
2月下旬以降欧州由来のウイルス拡大

現在の感染状況

Johns Hopkins U. of Med. <https://coronavirus.jhu.edu/map.html> より

2/26/2021 午前11:22

世界の感染状況 感染者数 112,967,324； 死者数 2,506,344

日本の感染状況 感染者数 428,804； 死者数 7,738 (米国 > 500,000)

2021年2月 17日 ワクチン先行接種開始（医療従事者）

# 社会的緊急課題：アカデミーができることは何か

COVID-19（新型コロナウイルス感染症）

新型コロナウイルスの  
ゲノム配列は解読済み  
(2020年1月11日) → ワクチン開発  
は加速

しかし当時は、

新型ウイルスの性質は未解明

感染症の実態は全く不明

感染症の社会へ及ぼす影響も未知

(現在も未解明な点が多い)

- 学術的に正しく理解する。
- 科学は唯一絶対的な正答を導くことが難しい（科学的不確実性のため）。  
--- 特に新興感染症について



- One voiceは難しく、学術に基づいた複数の見解、提案を偏りなく提供する。
- 学術界として社会の不安に応える努力をする。

# 学術会議のCOVID-19への対応の基本方針

- トップダウンで第二部（生命科学）を中心に新たな**検討分科会**を設置し、速やかに見解や提言等を発出する。
- 学術会議の特徴である人文・社会科学、生命科学、理学・工学の分野の科学者による横断的な審議により、**中・長期的な視点でwith/postコロナにおける医療体制や社会のあり方**について提言や情報発信を自主的に行う。
- **学協会、学協会連合と連携**して、最新の学術情報を集約し、発信する。



2020年2月27日 第二部附置「**大規模感染症予防・制圧体制検討分科会**」設置

2020年3月6日 **幹事会声明**（日・英）「新型コロナウイルス感染症対策に関するみなさまへのお願いと、今後の日本学術会議の対応」

2020年4月7日 **Gサイエンス学術会議共同声明**「新型コロナウイルス感染症の世界的流行に係る国際協力の緊急的必要性について」

2020年5月以降 **公開対談**「新型コロナウイルス後の世界」（ビデオメッセージ）

2020年7～9月 **大規模感染症予防・制圧検討分科会から2件の提言**を発出

2020年6月以降 **学協会、学協会連合等と連携した公開シンポジウム**を開催（2021年2月27日までに16件）<sup>5</sup>

# 諸外国アカデミーとの協力

2020年4月8日 新型コロナウイルス感染症の世界的流行に係る国際協力の緊急的必要性について

Gサイエンス学術会議共同声明（G7サミット参加各国アカデミー等による科学的政策提言）

<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-24-gs2020-1j.pdf>

1. 感染伝播、潜伏期間、致死率、各種治療介入方法の有効性など、次第に明らかになる疫学についての**迅速かつ正確で透明性のある国際的な意思疎通**
2. 新型コロナウイルスと、ウイルスの発生源、遺伝学、および変異、ならびに新型コロナウイルス感染症の病態生理およびヒト免疫反応に関する**詳細な科学情報のリアルタイム共有**、さらにはこれら全ての領域における**知識向上のための協調的活動**
3. 新型コロナウイルス感染症医薬品の研究開発に関する情報共有に加え、この生命に関わる研究開発を前進させるための**共同研究努力**
4. 我々の相互依存に鑑み、信用できる個人用保護具、診断検査機器、および医療対応能力の確保を促進するために求められる**規制及び生産過程並びに品質基準についての協調と連携**
5. 世界的パンデミックの進行に伴って次々と浮上する懸念事項または個別の**制度的・政策的課題をエビデンスに基づいて迅速に分析するための共同努力**
6. 急速に変化する状況における一般市民および政策立案者に向けた**エビデンスに基づく一貫した助言・指導、情報発信、およびコミュニケーションの協調的な進展**



# 「未来からの問い」特設HP／公開対談「新型コロナウイルス後の世界」

「高校生・大学生から華道次期家元まで、総勢19名と山極会長が語り尽くす」

<http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/tenbou2020/after-corona.html>

## 趣旨説明



山極 謙一  
日本学術会議会長  
京都大学総長

「趣旨説明」  
2020/05/12収録

[趣旨説明動画はこちら](#)

## 対談者



池坊ゆき子  
華道次期家元  
内閣府総合科学技術・イノベーション会議 (CSTI) 議員

「産学連携」  
2020/07/28収録


対談動画はこちら  
[\(パート1\)](#)、[\(パート2\)](#)、[\(パート3\)](#)



池坊 喜子  
華道次期家元  
池坊次期家元 (学術博士)

「まけ花に学ぶ」  
2020/07/14収録

対談動画はこちら  
[\(パート1\)](#)、[\(パート2\)](#)、[\(パート3\)](#)



山田佳代子  
イェール大学感染症学博士  
課程 4年  
世界保健機関 (WHO) 統計  
コンサルタント

「米国感染症対策・研究」  
2020/05/26 収録

対談動画はこちら  
[\(パート1\)](#)、[\(パート2\)](#)



井野 久美子  
日本学術会議連携会員  
甲南大学 文学部 教授

「歴史に学ぶ」  
2020/05/22 収録


対談動画はこちら  
[\(パート1\)](#)、[\(パート2\)](#)、[\(パート3\)](#)



坂田 莉乃  
福島県立福島高等学校 2年 生

「高校生が東日本大震災の経験を  
もとに考える未来」  
2020/07/10収録

対談動画はこちら  
[\(パート1\)](#)、[\(パート2\)](#)



神保 留子  
日本学術会議会員  
一般社団法人発達障害専門センター  
代表理事  
お茶の水女子大学人間発達教育  
科学研究所人間発達基礎研究  
部門客員教授

「メンタルヘルス」  
2020/06/30収録

対談動画はこちら  
[\(パート1\)](#)、[\(パート2\)](#)、[\(パート3\)](#)



津村 恵美子  
日本学術会議連携会員  
京都大学大学院文学研究科教授  
アジア顕微鏡／公共教育研究  
センター長  
京大アジア研究教育ユニット長

「ライフ後社会」  
2020/05/22 収録

対談動画はこちら



高村 かのり  
日本学術会議連携会員  
東京大学未来ビジョン  
研究センター教授

「地球環境政策」  
2020/05/21 収録

対談動画はこちら  
[\(パート1\)](#)、[\(パート2\)](#)

2020年5月以降

1. 感染症専門家とのシリーズ
2. 関連社会課題についてのシリーズ
3. 文明論や人間観に関わるシリーズ



イリス ヴィツォレック  
日本学術会議外国人アドバイザー  
(株)IRIS科学・技術経営研究所  
CEO

「日独比較に学ぶ」  
2020/06/24 収録

対談動画はこちら  
[\(パート1\)](#)、[\(パート2\)](#)、[\(パート3\)](#)



平田オリヒ  
国際学術大学社会学部教授  
学長特別補佐  
東京藝術大学アートイノベーション  
センター兼任教授  
大阪大学COデザインセンター  
兼任教授

「芸術活動・芸術教育」  
2020/06/16 収録


対談動画はこちら  
[\(パート1\)](#)、[\(パート2\)](#)



浩澤 栄  
日本学術会議会員  
東京理工大学卓越リーダー養成  
機構兼任教授

「農業」  
2020/05/21 収録

対談動画はこちら  
[\(パート1\)](#)、[\(パート2\)](#)



石神 真  
日本学術会議会員  
東京大学総長

「未来社会像」  
2020/05/19 収録

対談動画はこちら  
[\(パート1\)](#)、[\(パート2\)](#)、[\(パート3\)](#)



モンデン カサマ  
日本学術会議外国人アドバイザー  
大阪大学 学長特別補佐

「国際連携」  
2020/06/09 収録

対談動画はこちら  
[\(パート1\)](#)、[\(パート2\)](#)、[\(パート3\)](#)



秋葉 隆博  
日本学術会議連携会員  
弘前大学 特任教授  
鹿児島大学 名誉教授

「国際学術社会の連携」  
2020/06/04 収録

対談動画はこちら



山田 雅子  
日本学術会議会員  
慶應義塾大学環境・エネルギー  
研究センター 特任教授

「自然災害」  
2020/05/14 収録


対談動画はこちら



山本 謙  
日本学術会議連携会員  
国立情報学研究所 所長  
東京大学 工学部 教授

「情報通信社会」  
2020/05/13 収録

対談動画はこちら  
[\(パート1\)](#)、[\(パート2\)](#)



堀 謙一  
東京理工大学名誉教授  
自然環境動物学研究所  
センター所長

「野生動物の管理」  
2020/06/03 収録

対談動画はこちら  
[\(パート1\)](#)、[\(パート2\)](#)、[\(パート3\)](#)



中 大幹  
日本学術会議連携会員  
東京大学大学院工学系  
研究科教授  
国連大学上級副学長

「SDGs」  
2020/06/02 収録

対談動画はこちら  
[\(パート1\)](#)、[\(パート2\)](#)



石岡 公一  
国立環境研究所  
生物・生態系環境研究センター  
年長リスク評価・対策研究室長

「生物多様性」  
2020/05/13 収録

対談動画はこちら

# 学術会議のCOVID-19に関する2つの提言

提言：感染症の予防と制御を目指した常置組織の創設について（2020年7月3日）

1. 内閣府に常設の感染症予防・制御委員会を設置し、また、内閣に感染症対策に責任を持つポストを設置
2. 都道府県に常設組織（知事に助言を与える専門家組織＋都道府県感染症対策本部）を設置
3. 感染症対策に関わる機関の体制を強化し機能を高度化、とくに感染症に関するデータセンターを設立し、オープンサイエンスを促進する環境を整備

提言：感染症対策と社会変革に向けたICT基盤強化とデジタル変革の推進（2020年9月15日）

1. 感染状況や医療提供体制の情報収集・提供など、医療システムのデジタル変革
2. 感染症対策と経済活動の両立を可能とする社会生活のデジタル変革
3. 社会生活のデジタル変革を支えるサイバーセキュリティとプライバシー保護



# COVID-19に関する学術フォーラム（2020年11月）



一般社団法人

日本医学会連合

The Japanese Medical Science Federation

## 学術フォーラム

「新型コロナウイルス感染症コントロールに向けての学術の取り組み」

主催：日本学術会議 共催：日本医学会連合

日時：令和2年11月28日（土）13時から

会場：オンライン開催

趣旨：

学術界全体として新型コロナウイルス感染症コントロールに向けてどのように取り組んできたのか、そしてこれからどのように取り組んでいくのか、一線の研究者から国民の皆様にお伝えする。

事前登録数：約1,000名 最大同時視聴数 474名

発表資料閲覧可能

<http://www.scj.go.jp/ja/event/2020/303-s-1128.html>

### 日本学術会議からの報告

- ・提言「感染症の予防と制御を目指した常置組織の創設について」  
郡山千早 日本学術会議連携会員、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科教授
- ・提言「感染症対策と社会変革に向けたICT 基盤強化とデジタル変革の推進」  
高倉弘喜 国立情報学研究所アーキテクチャ科学研究系教授・同サイバーセキュリティ研究開発センター長

### 日本医学会連合とその加盟学会の活動報告と提案

- ・健康危機管理と疾病予防を目指した政策提言・支援組織の創設の必要性  
磯 博康 日本学術会議会員、日本医学会連合Japan CDC 創設に関する委員会（第二次）委員長、大阪大学大学院医学系研究科教授
- ・コロナ禍における医療提供体制～外科系学会としての取り組み  
北川雄光 日本学術会議会員、日本医学会連合理事、日本外科学会監事
- ・コロナ禍における医療提供体制～内科系学会の取り組み  
館田一博 東邦大学医学部教授、日本感染症学会理事長、日本学術会議第24期特任連携会員

### 学術報告

- ・新型コロナウイルスのウイルス学的特徴  
野田岳志 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所教授
- ・新型コロナ感染拡大動向の把握に挑む  
中野貴志 日本学術会議連携会員、大阪大学核物理研究センター教授
- ・臨床の現場からの現状の分析と提案  
三嶋廣繁 日本学術会議連携会員、愛知医科大学医学部感染症科
- ・新型コロナウイルスワクチン開発の現状と展望  
朝長啓造 京都大学ウイルス・再生医科学研究所教授
- ・新型コロナウイルス感染拡大で顕在化してきたメンタルヘルス問題対策とは：収束後に向けて  
神尾陽子 前日本学術会議会員、日本学術会議連携会員、お茶の水女子大学客員教授、発達障害クリニック附属発達研究所所長
- ・デジタル技術によるデータ駆動医療  
喜連川優 日本学術会議連携会員、国立情報学研究所所長、東京大学生産技術研究所教授

# 多様な視点からの学術情報の発信（2020年度）

学術会議が主催または共催した学術フォーラム・公開シンポジウムでのCOVID-19に関連した講演リスト

：重要なキーワード

2020/6/3（水）	学術フォーラム	「COVID-19とオープンサイエンス」
2021/6/18（木）	学術フォーラム	「人生におけるスポーツの価値と科学的エビデンス 新型コロナ感染症収束後の社会のために」
2020/7/16（木）	学術フォーラム	「メディアが促す人と科学の調和—コロナ収束後の公共圏を考える—」
2020/9/5（土）	公開ワークショップ	「新型コロナウイルス禍の下での持続可能な発展のための教育の推進」
2020/9/19（土）	公開シンポジウム	「コロナ時代におけるフィールドワーク教育をめぐって」
2020/9/20（日）	学術フォーラム	「生きる意味 —コロナ収束後の産学連携が目指す価値の創造—」
2020/10/3（土）	公開シンポジウム	「複合災害への備え— withコロナ時代を生きる」
2020/10/11（日）	公開シンポジウム	「Withコロナの時代に考える人間の「ちがい」と差別 ～人類学からの提言～」
2020/11/7（土）	北海道地区会議主催 学術講演会	「感染症との共存の現在と未来」
2020/11/11（水）	学術フォーラム	「コロナとの共生の時代における分析化学の果たす役割」
2020/11/14（土）	公開シンポジウム	「One health：新興・再興感染症～動物から人へ、生態系が産み出す感染症～」
2020/11/20（金）	中部地区会議主催 学術講演会	「コロナ禍・豪雨災害：自然災害に向き合う」
2020/11/25（水）	学術フォーラム	「人口縮小と「いのちの再生産」—コロナ禍を超えて持続可能な幸福社会へ—」
2020/11/28（土）	学術フォーラム	「新型コロナウイルス感染症コントロールに向けての学術の取り組み」
2020/11/29（日）	公開シンポジウム	「COVID-19パンデミックを契機として考える日本の結晶学の現状と今後」
2020/12/5（土）	公開シンポジウム	「身体・社会・感染症—哲学・倫理学・宗教研究はパンデミックをどう考えるか—」
2021/1/13（水）	公開シンポジウム	「社会生活のデジタル改革」

早い段階から、公開講演会を通して様々な分野でコロナ禍に関連する課題について科学者コミュニティおよび市民との対話を進めた。

# 学術会議での多様な視点の審議と潜在的な課題抽出

2020年12月から2021年2月 全分科会（246）へアンケート実施

問：COVID-19に関連する学術フォーラム・公開シンポジウムの予定または審議予定

30－40の分科会がCOVID-19に関連した審議、情報発信を実施・予定している。

主なキーワード:

社会の分断（貧困問題、経済格差、教育格差、地域格差、ジェンダー格差）、経済・政策、ポストコロナの社会構想、グローバルな法政策、実技・実習教育

ワクチン、疫学調査、医学・臨床研究の問題点、ケアサイエンス（介護崩壊）、医療系の人材育成、非常時の人材管理、野生動物、グリーンリカバリーと植物保護、COVID-19とスマート農業、食糧問題、食の安全、アディクション（依存症）、メンタルヘルス（自殺急増）

デジタル変革、データサイエンス、オープンサイエンス、プラスチックガバナンス、オンライン理工系教育、応用物理の役割、建築、都市、分析化学・結晶学、シミュレーション研究

学術会議の特徴を活かした多様な視点（人文・社会科学、生命科学、理学・工学）からコロナ禍の状況を分析し、課題の抽出を行っている

# 日本学術会議のポテンシャルと今後の課題

## 特徴とポテンシャル

- 分野横断的議論が可能：

学術会議の特徴は、専門性の近い科学者の集団である学協会とは異なり、人文・社会科学、生命科学、理学・工学の幅広い分野の科学者の代表で構成

- 潜在的な課題を抽出

緊急課題についても、目前の課題だけでなく、顕在化していない重要な問題について警鐘を鳴らし、将来的な（中長期的な）対応を審議・提案

- 俯瞰的・重層的な審議によるタイムリーな科学的助言

緊急性のある課題でも、幅広い分野の科学者の代表が多様な視点からタイムリーな意志表出（科学的助言）

- 国際学術機関と協働・連携による地球規模の課題に対応

日本の科学者の代表機関として、世界各国のアカデミー、国際学術会議（ISC）等と協働・連携

## さらなる機能強化に向けて

- 関連する学協会、学協会連合とさらに密に連携できる体制の構築

- ホームページ、サイエンスカフェの開催等を通して情報発信力をさらに強化（適切な資源投入）

- 学術会議内の分野を超えた審議をさらに促進し、専門性と俯瞰性を備えた提言や学術情報の発信